３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	443,612,454円
時の経過による調整額	△280,005円
期末残高	443,332,449円

Ⅸ．収益認識関係

当センターは、以下に記載する内容を除き、独立行政法人会計基準第86における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

１．収益の分解情報

当センターの一定の事業等のまとまりごとの区分は、研究事業、臨床研究事業及び診療事業であり、各事業の主なサービス等の種類は受託研究に係るサービス成果、診療行為に係るサービスであります。

上記に係る一定の事業等のまとまりごとの区分における収益は、研究事業が2,059,256,312円、臨床研究事業が851,577,038円、診療事業が30,692,125,535円であります。

２．収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

３．当期及び翌期以降の収益の金額を理解するための情報

⑴　契約負債の残高等

	当事業年度	
	期首	期末
前受金 契約負債	753,105,138	601,058,715

契約負債は主に、研究について契約に基づき顧客から受け取った対価であり、収益の認識に伴い取り崩されます。

期首時点の契約負債残高のうち、当事業年度に認識した収益の額は、712,009,083百万円であります。

⑵　残存履行義務に配分した取引価格

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅹ．重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払が発生する重要なものは、以下のとおりです。

（単位：円）

契　約　内　容	契　約　額	翌事業年度以降の支払金額
建物賃貸借契約（看護師宿舎借上）	1,491,682,064	650,808,000
医事室等業務委託	1,620,853,553	201,415,170
院内清掃業務委託契約	517,476,960	386,004,960
盛付・配膳等業務委託契約	554,202,000	92,367,000
病院情報システム（電子カルテ系）リース契約	3,980,115,216	3,980,115,216
病院情報システム（放射線・生理画像検査系）リース契約	821,985,120	821,985,120
ネットワーク・ネットワークサーバ・セキュリティ請負契約	523,457,176	186,637,176

Ⅺ．重要な後発事象

該当事項はありません。

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター令和７事業年度財務諸表に関する公告

独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項に基づき、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター令和７事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

なお、主要な財務諸表のみを記載しておりますので、詳細をご覧になりたい方は、当センターのホームページ（https://www.ncnp.go.jp/）又は事務所にて閲覧ください。

㈱　貸借対照表等の計数は百万円未満を四捨五入しているので、合計とは端数において合致しないものがあります。

令和８年10月８日

東京都小平市小川東町四丁目１番１号
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
理事長　中込　和幸

貸　借　対　照　表

（令和８年３月31日）　（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
Ⅰ　流動資産		Ⅰ　流動負債	
現金及び預金	7,752	運営費交付金債務	757
医業未収金	2,134	預り寄附金	223
貸倒引当金	△ 2	一年以内返済長期借入金	289
未収金	878	買掛金	924
医薬品	65	未払金	5,902
診療材料	19	一年以内支払リース債務	13
給食用材料	0	前受金	134
貯蔵品	16	預り金	425
前渡金	7	未払費用	0
前払費用	94	引当金	
未収消費税等	596	賞与引当金	516
その他流動資産	11	流動負債合計	9,183
流動資産合計	11,572	Ⅱ　固定負債	
Ⅱ　固定資産		資産見返負債	
１　有形固定資産		資産見返運営費交付金	210
建物	25,951	資産見返補助金等	42
減価償却累計額	△ 13,104	資産見返寄附金	76
減損損失累計額	△ 47	建設仮勘定見返施設費	5
構築物	652	長期借入金	2,421
減価償却累計額	△ 367	リース債務	8